

2019年4月4日

各位

大阪信用金庫  
理事長 高井 嘉津義

## 定例調査：第179回 景気動向調査（1～3月期）

☆安定した景況感も **製造業に一服感**・・・売上DI+5.1 収益DI+2.1☆設備投資 **補助金効果か?**・・・製造業「実施中・予定あり」22.2%☆経営課題 **収益の足かせに**・・・「仕入単価上昇」48.2%「人手不足」42.4%☆賃上げ検討 **4社に1社**・・・「実施予定」24.9%●安定した景況感も **製造業に一服感** 売上DI+5.1 収益DI+2.1

総合では、売上DI+5.1(前回比△3.4ポイント)、収益DI+2.1(前回比△0.9ポイント)となり、売上DIは下落し、収益DIは横ばいで推移しました。建築金物の需要増により金属関連主体に卸売業の売上が回復し、不動産業も消費税率引き上げの駆け込み需要で上昇しました。下落した業種もありますが、**全体として景況感は安定しています。**

4-6月期は、総合で売上DIが0.3ポイント、収益DIが1.4ポイントともに上昇と予想しています。安定したインバウンド需要や6月開催のG20など、今後の景気への期待は続いています。

●設備投資 **補助金効果か?** 製造業「実施中・予定あり」22.2%

設備投資は、総合では「実施中」8.0%(前回比△1.0ポイント)、「予定あり」9.6%(前回比+0.2ポイント)合計17.6%と横ばいで推移しました。

中でも製造業は「実施中」12.0%、「予定あり」10.2%と合計で2割台を維持しています。製造業では「予定あり」が増加し、2月からの「ものづくり補助金」公募の効果もあるためか、設備内容は「機械等の新設・増設」が最も多くなっています。

●経営課題 **収益の足かせに** 「仕入単価上昇」48.2%「人手不足」42.4%

経営上の問題点は、総合では「仕入単価の上昇」が48.2%(前回比+1.5ポイント)、「人手不足」が42.4%(前回比±0.0ポイント)となりました。鉄鋼など原材料の高止まりに加え、原油価格が再び上昇し、食品関連の値上げが相次いでいます。これらがコスト増の要因となり、収益低下への懸念が広がっています。

また、卸売業、飲食業でも「人手不足」が経営課題として浮上し、ほぼ全ての業種で深刻化しています。マンパワー不足が今後の売上伸長にも大きく影響を与えています。

●賃上げ検討 **4社に1社** 「実施予定」24.9%

賃上げについては、「実施予定」が24.9%(前年比△1.7ポイント)となり、昨年に比べ減少したものの、**4社に1社は賃上げ予定です。**従業員の流出防止策として、厳しい収益状況ながらも賃上げ実施に踏み切る企業があります。業種別では、製造業、卸売業、建設業、運輸業で実施企業が全体平均を上回りました。従業員数別でも、従業員10人超の企業で全体平均を上回っています。

調査時点：2019年3月上旬

対象期間：2019年1～3月(実績) 2019年4～6月期(見通し)

対象企業：当金庫お取引先1,782社(大阪府内、尼崎市)

回答企業数：1,527社(回答率85.7%)

調査方法：調査票郵送および聞き取り調査

本調査に関するお問い合わせは下記までお願いします

株式会社だいしん総合研究所(担当：平山)

TEL:(06)6775-6590 FAX:(06)6772-1630

E-mail:souken@osaka-shinkin.co.jp URL:http://www.osaka-shinkin.co.jp